

## 2. 若者提案（参考資料2）

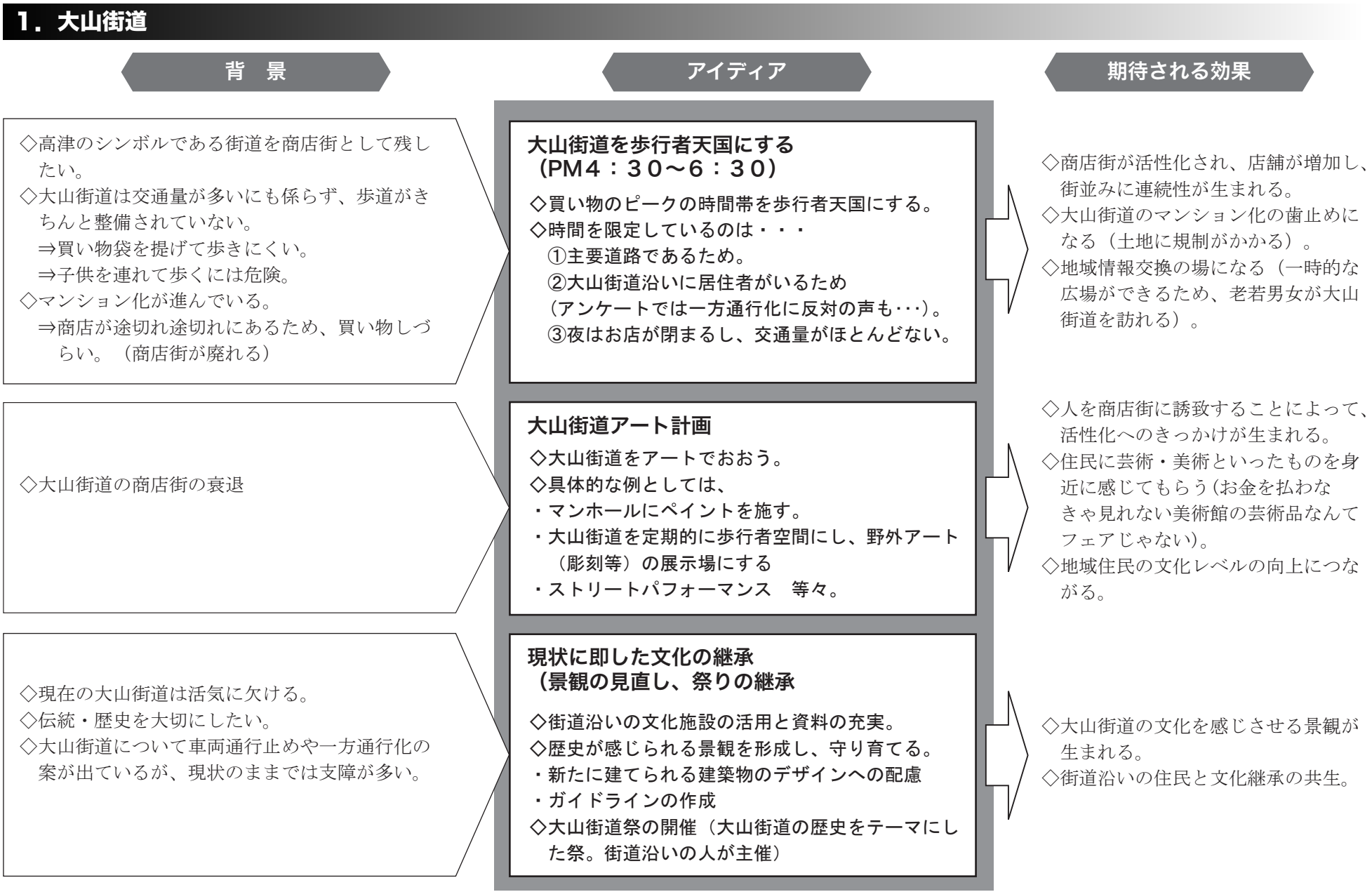
都市計画マスタープラン高津区構想部会では、2003年の2月、「若者ワークショップ」をやって、都市マスの中に若者の意見も入れよう！ということから、区役所の若い職員や部会の若者等を集めて、「若者部会」（現S A I 2 2）を結成しました。

そして2003年4月におこなわれた Bamboo Festa と同年7月におこなわれた区民祭で若者へのアンケートを行い、集められた区民の意見を参考に、「都市マス若者提案」をまとめました。



上段：  
区民祭の様子  
下段：  
バンブーフェスタ2003の様子





## 2. 商店街

### 背景

◇将来的に増加が予想される空き店舗や空き家についての情報を仲介する人が不足する可能性がある。

- ◇溝の口駅周辺の商店街に空き店舗が増えることが予想される。
- ◇若者が気軽にくつろげる場、集まる事のできる空間が少ない。
- ◇若者自らが提案し、実験的なイベントを開催できる空間が少ない
- ◇若者は高津から出ることが多く、外部で文化を消費する傾向にある。
- ◇20年後の高齢化社会に向けて、高齢者がイキイキと自己表現する場を作る必要がある。

### アイデア

#### 空家の再生<空家情報バンク>

- ◇空き家情報バンクで街の空き家情報を提供、または家主との仲介を行う組織を作る。
- ◇空き家の利活用に関する情報提供を行う。

#### 高津発の文化づくり (誰もが自己表現できる場づくり)

- ◇溝の口駅周辺の商店街の空き店舗活用。
  - ・若者のチャレンジショップ(お試し店舗)
  - ・ジジババ向けイベントの開催(舞踏会)
  - ・若者イベントの場(ダンスパーティー、映画祭)

### 期待される効果

- ◇貸したい人と借りたい人がスムーズに結びつく。
- ◇また、空き家・空き店舗を活用していない持ち主に、活用アイデアをアドバイスすることで、空き家や空き店舗が地域の資源として甦る。

- ◇地域と若者、若者と高齢者など、世代や地域を超えた結びつきが生まれる。
- ◇「高津発」の若者・高齢者文化が生まれる。
- ◇商店街に活気が生まれる。
- ◇若者の起業家が増える。

## 3. 緑

- ◇今後20年間で高津の緑環境が悪化するの確実であるため、街の空間に「新たな緑」を生み出す活動が必要。
- ◇今後人口が減少することを考えると空き地が増える(?)。

#### 街なかに緑を増やす

- ◇街なかの小さな空き地を緑化・または市民農園化して、地域で守り・育てる緑の空間を作る。

- ◇身近な緑空間が増える。
- ◇野菜作り・土いじりで、地域住民のレクリエーションを図る。
- ◇緑を守り・育てる活動を通じて、地域の結束力が強化される。

## 4. 自転車

### 背景

- ◇二子新地周辺は道路形態が複雑且つ狭いなので、自動車には不便。
- ◇溝の口駅から北側は平地が多いので自転車利用には都合がよい。
- ◇天気の良い日には多摩川で余暇を過ごす人がある。
- ◇高津区はベッドタウンであるが、洗足学園を始め学校や企業もあり、駅からの自転車利用も見込める(はず)。

- ◇溝の口駅周辺に放置自転車が多数。
- ◇有料駐輪場で利用率が低い場所がある。
- ◇自治会活動が下火で、地域のつながりが薄い。

### アイデア

#### コミュニティサイクルの導入

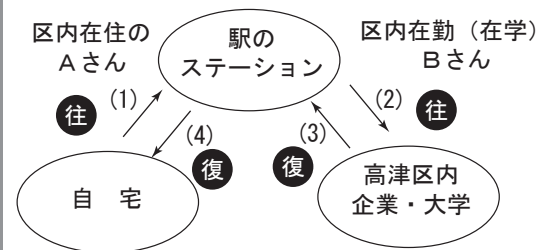
- ◇溝の口の駅をサイクルステーションとしてレンタサイクルを実施。
- ◇平日は自宅から溝の口駅へ向かう人、駅から洗足の学生や、会社の人、関東自動車学校の人が利用。週末は駅から大山街道等を抜けて多摩川へ買い物アンドサイクリング。

#### 町内会対抗放置自転車ゼロ

- ◇溝の口駅周辺の放置自転車の登録ナンバーから所有者の居住地区を割り出し、ワースト町会、優良町会を発表(商品券付)。
- ◇運動町内会にいい意味で競争意識が生まれ、放置自転車対策に乗り出す町会も出てくる。

### 期待される効果

- ◇放置自転車が減る。
- ◇高津区内(大山街道から多摩川方面)の回遊性がレンタサイクルの登場によって広がり、商店街の活性化。



- ◇放置自転車が減る。
- ◇駐輪場の利用率アップ←利用方法等の見直し。
- ◇地域の結束力が強化される。

## 5. 駅前

- ◇溝の口駅南口前の道路が自転車で溢れかえっている。
- ◇駅周辺に休憩スペースが少ない。
- ◇キラリデッキでたむろす人は多い。  
→ 広場に対する需要は高い。

#### 広場創出

- ◇溝の口駅南口前の道路の一部を芝生にしてしまう。その他、イベントやオープンカフェを開催。

- ◇くつろぎの空間が創出され、地域にゆとりが生まれる。
- ◇広場はイベント会場としても使え、文化活動が盛んになる。
- ◇駅前に緑を配することで、斜面緑地との一体感が生まれ緑地の回遊性が生まれる。

## 6. 情報提供・意識啓発

### 背景

◇高津のことについて簡単にいろんな事を知りたいが、術がない。  
◇現在、高津にあるタウン誌は有効的に機能していない。  
⇒市民が何を知りたいのかというニーズに応えていない。  
⇒レイアウトからしてダサイ（古臭い）。  
⇒タウン誌がどこにあるのかわからない。

◇まちは住民がつくるもの。  
◇しかし日本人はヨーロッパなどに比べるとまちに対する興味が少ない。  
◇だからなかなかまちづくりへと行動が伴わない。

◇高津区の情報がバラバラで集約されていない。  
◇特にお互いに市民活動団体同士が活動を知らない。

◇市民活動やボランティア活動等の情報周知が進んでいないため、それぞれの活動の広がりが失われている。

### アイデア

#### まちの情報発信

◇読んで楽しいタウン誌をつくる。  
・タウン誌部会の発足

#### まちづくり教育ワークショップ

◇定期的に、小学生を中心としたにまちがテーマのワークショップを開催(定期的)。  
◇自分のまちに興味を持ってもらう。  
(例：世田谷でまちにある音を集め、その音を身近な道具で再現し、その音で曲を作る。商店街などのまちへ子供が出て行って注意深くまちを聴いて、見る。)

#### まちの情報拠点づくり

◇溝の口駅構内にまちの情報案内所の設置。  
◇まちの商店などの情報から、まちづくり団体の情報まで住民のための情報を提供し、収集する。

#### ボランティア・人材バンク

### 期待される効果

◇商店の活性化。（今は、知らないお店だらけ）  
◇地元意識が強くなる。（今は、近隣しかわからない。近隣すらわからないかも）  
◇人のつながりができる。  
◇とにかく、やり方次第であらゆるものが活性化する。

◇自分のまちに興味を持つ若い世代の人が増える。  
◇まちづくりが活性化される。

◇市民活動団体同士の連携ができ、活動が活発化される。  
◇情報が手に入りやすいために地域情報が区民にとって身近なものになり、地域に対して親近感が沸く。  
◇さらにはまちづくり参加人口が増える。

◇高津でユニークな活動をしている人や、ボランティアグループの紹介システムを作ることによって、高津の市民活動が活発化する。

## 7. コミュニティ

### 背景

◇近所に誰が住んでいるのかわからない=交流ゼロ  
⇒自分の利害に直接関わる以外無関心である。  
⇒窃盗や誘拐があっても気づきにくい。  
⇒災害の際に助け合えるのか疑問。

◇独居老人の増加  
◇若者は貧乏

### アイデア

#### 町内会入会率100%をめざす

◇交流を深める第一段階として町内会に入会する。  
◇町会の情報開示・発信。  
◇地域のシンボルマークをつくる。

#### 高齢者みまわり制度

◇アパートに入る一人暮らしの若者に高齢者を1人受け持ってもらい、定期的に見てもらおう（話し相手など）。  
◇その代わりにアパートの家賃は他の人より安い。

### 期待される効果

◇回覧版を通じて、近隣の顔や名前を覚える。  
◇回覧版を通じて、地域の情報が入る。  
◇同じグループに所属しているという仲間意識ができる。  
◇交流するようになり、防犯・災害時等に活かされる。

◇高齢者と若者の壁が取り払われ、世代間交流が生まれる。  
◇独居老人の精神的不安が軽減される？

## 8. 住宅

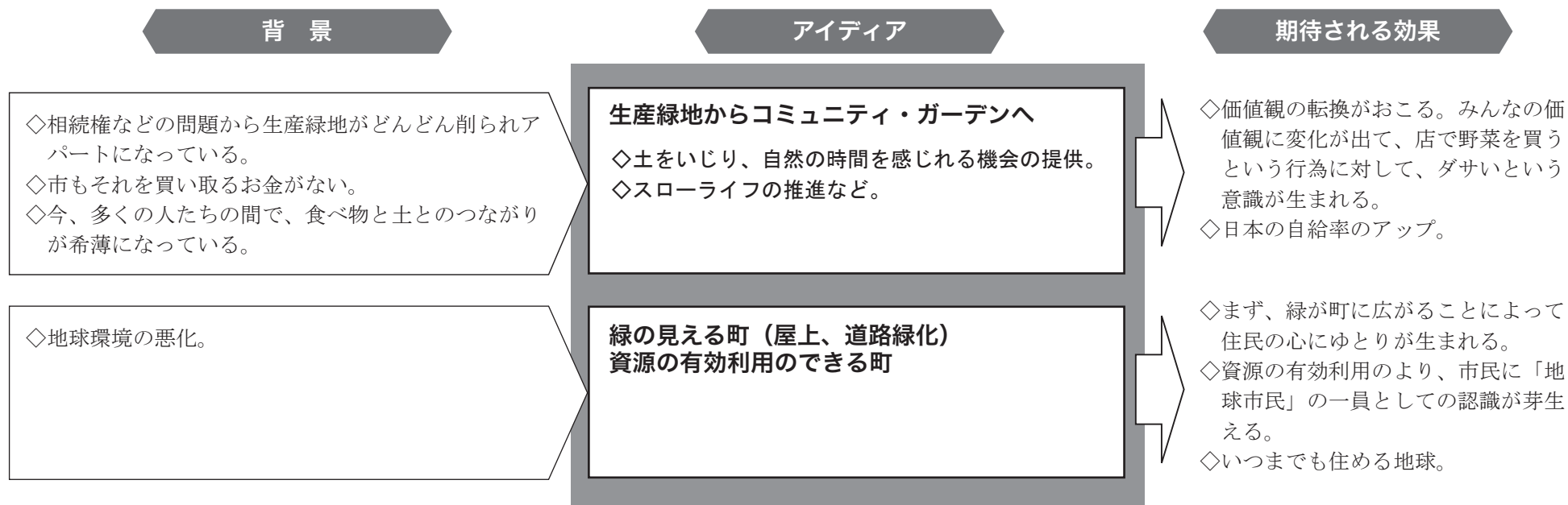
◇高齢化に伴い、高齢者が増加。  
◇高層マンションに一人暮らし、という状況が今後増えることが予想される。高齢者が困った時に助けられる人が近くにいる環境の必要性。  
◇現在のマンションラッシュと人口増加は一過性のものであり、今後は収束する事が予想される。将来的には老朽化したマンションや住宅等が残り、その利活用が街の課題となる。

#### ミックスド・レジデンス コーポラティブ・ハウジング

◇マンション建て替えの時期、そこに住むであろう人(といっても高齢者だけでなく若者、家族世帯など多くのタイプの人)を事前に集めて、どんなアパートにしたいかを話し合ってもらおう。彼らが考えた方針やデザインでアパートを建設。  
◇住民の交流機会を増やすために、マンションの下層部に店舗やクリニックを導入。  
◇単身高齢者向けにマンションを改築（グループホーム・コレクティブハウスとしての活用等）

◇アパートができる前からアパートに住むことになるであろう人たちのコミュニティが生まれる。  
◇いろいろなタイプの人が住むことにより、多くの刺激をお互いに受けあえる。高齢者を助けられる人が一緒に住んでいる。  
◇市場価値の下がった老朽マンションが再生する。

## 9. 循環型社会、環境共生



## 10. 市民協働

